

豊中市地域包括支援センター事業評価表

ア) 総合相談支援事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
1	<p>総合相談支援事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/>3 職種の専門性を活かしたチームアプローチを実施している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>多機関と連携した重層的支援体制の構築に向けた取組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 他機関とつながることでお互いの役割を知り、安心して支援者が支援できる体制をつくります。</p> <p>内容： 高齢部会では他機関に声掛けし困難事例を通じたグループワークを行いました。各機関何ができるのか意見交換し、連携体制の構築に向けた取組みを行うことができました。高齢部会後のアンケートでは他機関の役割を理解し、お互いに相談しやすい体制ができたと感じた人が 90%という結果から連携体制の強化を図ることができたと考えています。重層的支援体制の構築として、総合相談で把握した方について地域（民生委員・校区福祉委員）の方と連携し、既存のサロンやオレンジカフェ、地域の通いの場につなげ継続的な支援を行うことで高齢者の場づくりにつながっています。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>地域関係機関等からの参加で、グループワークを通しての事例検討を校区ごとに行い、相互の担当業務についての理解の促進につなげています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>校区ごとの課題や特性、地域ニーズをふまえた検討が行われています。</p> <p>【課題】</p> <p>校区福祉委員や民生委員の負担や、経験値の違いもあるため、これらの解消・軽減に向けた取り組みの充実に期待します。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <p>複合的な課題のある世帯における高齢者支援について、障害やこども分野との連携が必要な相談が増えてきています。地域ケア個別会議を開催し、支援体制の構築につながっています。今後も継続的に行い地域の民生委員・校区福祉委員が抱え込むことがないように支援していくことが課題です。</p>	
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>総合相談支援を通じて、さらなる他機関連携の充実をめざします。支援者の抱え込みを防ぐためにも少路包括から地域の方へ出向き、地域ケア個別会議につなげ、様々な支援機関が安心して支援ができる体制をつくります。</p>	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

イ) 権利擁護事業について特に力を入れて取組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
2	<p>権利擁護事業（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>自分らしく尊厳をもって生活することができるよう、自己決定・意思決定支援をしている。</p> <p><input type="checkbox"/>予防的アプローチと地域づくりに取組んでいる。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 地域住民や職員の ACP の意識向上を図ります。</p> <p>内容： 身寄りがなく、認知症や精神疾患等で判断能力が低下している高齢者が増えてきており、本人の意思決定が困難な方が増えてきています。そこで、高齢部会にて地域の支援者の方に集まっていただき、社会福祉協議会の権利擁護後見サポートセンターの方を講師として迎え、成年後見制度について勉強会を開催しました。その後、グループに分かれて講義の内容について話し合い、講師に質疑応答を行いました。基本的なことが分からなかったため、質問して聞くことができ「良かった」、「理解できた」、「今後も生かせそう」という意見が80%ありました。20%の方は「何となく理解できた」という結果となり、意識向上を図ることができました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>民生委員・校区福祉委員・地域の介護保険事業者等の参加で、今年度から成年後見制度についての勉強会を立ち上げ、意識向上に取り組んでいます。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>今後の取組みの充実のため、振り返りを行うとともに、参加者の意見をふまえた企画の検討が行われています。</p> <p>【課題】</p> <p>今年度立ち上げた、市民や関係者にわかりやすい権利擁護にかかる啓発の取組みを継</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <p>今回、こういった話を聞いたのは初めてという方が多く、依然、成年後見制度については周知がされておらず、支援者だけでなく、当事者や当事者の家族にも広く周知をしていくことが課題です。</p>	<p>続し、成年後見制度等の理解の向上につなげていくことを期待します。</p>
<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>まずは、支援者や相談を受ける立場の方々に任意後見制度等、成年後見制度をもっと身近に知ってもらうことが必要であると感じています。そのために成年後見制度とはどんなものかを知ってもらい、そのうえで実際にケースを想定し、成年後見制度を具体的に進めていくためにはどのような資源が必要なのかという視点をもって全校区で勉強会を行い、同じ知識レベルをめざします。</p>			

令和7年度 少路地域包括支援センター

豊中市地域包括支援センター事業評価表

ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業について特に力を入れて取り組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
3	<p>包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（次のいずれかの視点を入れて取り組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>介護支援専門員等への個別ケアマネジメント支援において、地域包括支援センターが代わりに行うのではなく、介護支援専門員がより良い判断に到達できるよう助言等の支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>地域アセスメントを実施し、地域の実情に応じた取り組みを実施している。</p>	<p>【目標と具体的な取り組み内容】</p> <p>目標： 介護支援専門員が抱える困難ケースの事例検討を通して、多職種で検討し、解決につなげます。</p> <p>内容： 今年度はテーマ別に絞っての事例検討会を介護支援専門員からの要望により実施しました。一同に介して行う事例検討は回数、時間に限りがあるため、テーマ別の事例検討会をグループワーク形式で取り入れました。薬剤師を迎えて薬をテーマとした事例検討1回、重層的支援をテーマとした事例検討を1回（R8.1月）実施します。 多職種での事例検討会は3ヶ月後の後追いアンケートを実施して、解決につなげられたという回答を得ました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>圏域内の介護支援専門員の事例検討会が継続して行われています。対応力とスキルの向上につなげられるよう意識されており、その後の支援への反映状況の確認も行われています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>事例提出者の負担を軽減するため、介護支援専門員が会議の進行を担うことで、参加者が欲しい情報が共有される場になっています。</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <p>次年度もグループワーク形式で開催する予定であり、より多くの事例を検討できるように、テーマ別を実施することで、内容の充実をめざします。</p>	<p>【課題】</p> <p>参加者のニーズが高く、実践に有益と考えられる事例検討主体の勉強会開催の充実に期待します。</p>
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>・多職種での事例検討会の回数は、例年どおり実施します。</p> <p>介護支援専門員の要望に応じて、テーマ別の事例検討会も年間計画に入れる事で介護支援専門員のスキルアップをめざします。</p>	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

エ) 介護予防ケアマネジメント事業について特に力を入れて取り組んだことを記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
4	<p>介護予防ケアマネジメント事業（次のいずれかの視点を入れて取り組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 自立支援に資するプランになるよう、委託先の居宅介護支援事業所に対し、積極的なアプローチを実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 高齢者の主体性を引き出すための工夫をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> リハビリテーション専門職に意見を求めるなど、生活能力の改善・維持・悪化の可能性を見極める視点を培っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 潜在的対象者の把握について工夫している。</p>	<p>【目標と具体的な取り組み内容】</p> <p>目標： サービスありきではなく、まずは適切なアセスメントを行うことで、その人にとって効果的な支援につなげていきます。</p> <p>内容： 対象者にとって一番効果的な支援の検討するためにリハビリテーション専門職訪問を受けていただくよう少路包括内で対応を統一しました。その結果、リハビリテーション専門職訪問につないだケースが増加し、専門職のアセスメント後、豊中はつらつ教室・給付サービスにつながっています。卒業後の体力測定会の参加等で自立支援につながっており、結果的により効果的な支援につなげることができました。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>リハビリテーション専門職による訪問を標準化し、個々に応じた介護予防マネジメントに取り組んでいます。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>地域包括支援センター内の認識と取扱いを統一することで、個々の対象者にあわせた必要な支援提供の推進を図っています。</p> <p>【課題】</p> <p>今年度から、地域包括支援センター内のルールを統一し、新たな運用を開始していることから、圏域の介護支援専門員を含めた</p>

令和7年度 少路地域包括支援センター

豊中市地域包括支援センター事業評価表

	【課題】 ケアマネジャーに対する周知が不十分です	圏域内への幅広い取組みの周知・拡充が望まれます。
	【改善の方策と次年度の取組み】 ・引き続き、相談対応者や介護支援専門員に対して、リハビリテーション専門職訪問を促します。特に件数の目標を定めるわけではないですが、一番効果的な支援を検討することを意識してリハビリテーション職訪問につないでいきます。	

豊中市地域包括支援センター事業評価表

オ) 認知症地域支援・ケア向上事業について特に力を入れて取り組んだことを1つ記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
5	<p>認知症地域支援・ケア向上事業（次のいずれかの視点を入れて取り組んでください）</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症支援に関する個別事例において、嘱託医、初期集中支援チーム、疾患センター等の専門機関に相談する必要性を判断し、必要時相談できる体制を整えている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地域の実情に応じた方法により、認知症の人とその家族が参加する場で、本人の意欲向上と家族の介護負担感の軽減、認知症の人の在宅生活の安定を推進している。</p> <p><input type="checkbox"/> 認知症予防などにかかる啓発活動について、工夫を凝らした取り組みを推進している。</p>	<p>【目標と具体的な取り組み内容】</p> <p>目標： 認知症当事者、家族、地域住民、各関係者が集い、安心して情報交換や交流できる場所として、オレンジカフェを校区に1か所以上、立ち上げます。オレンジカフェの参加者の要望をふまえた後方支援を地域の各関係者と連携して行い、自主的な継続活動を支えます。</p> <p>内容： オレンジカフェの周知活動を継続して行い、オレンジカフェが5カ所立ち上がりました。また、初めてオレンジカフェの交流会を開催しましたが、参加者からのアンケート（回答率100%）で、『継続開催のヒントが得られた』『包括の支援に満足』との回答を得られています。横のつながりを深め、地域で活動を盛り上げていく基盤を構築することができました。</p> <p>以前から居場所が必要とされていた若年性認知症当事者の集いを市役所と他地域包括支援センターと連携し、企画・開催しました。自宅や、介護・福祉サービスとは違う第三の集いの場として継続を希望される声も確認できています。</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>圏域内全体へのオレンジカフェ展開に取り組んでおり、ほとんどの校区での開催につながっています。オレンジカフェでは、利用者が楽しめる場が多く、家族間の情報共有・情報交換が行われています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>オレンジカフェ同士の交流会を設けることで、情報共有・情報交換が促進され、それぞれのカフェの活動拡充につながられています。</p> <p>【課題】</p> <p>今年度開始された、オレンジカフェ同士の交流会を拡充し、機能強化と継続性の確立につ</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>【課題】</p> <p>オレンジカフェが増え、認知症当事者や家族、地域住民にとって集いの場は身近になり、継続活動ができているものの、オレンジカフェは依然単独活動であり、オレンジカフェの横のつながりは不十分と言えます。オレンジカフェ交流会を定期的で開催していくことや、若年性認知症当事者の集いに理解のある支援者を増やし、活動体制を構築していく必要があると考えます。</p>	<p>なげて行かれることを期待します。</p>
<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>オレンジカフェの交流会を定期的に行うことや、圏域内の医療・介護・福祉関係者と連携し、オレンジカフェへの支援の輪を広げ、活動を支持していく体制を地域全体で構築していきます。また、活動内容にいつそう当事者の声を反映させるために若年性認知症の当事者が意見交換する機会を増やし、不定期開催から定期開催をめざします。同時にこの活動の周知を行い、理解ある支援者の拡充に取り組みます。</p>			

豊中市地域包括支援センター事業評価表

カ) 一般介護予防事業を推進する取組みについて記入してください。

番号	評価項目	自己評価（目標達成度）	外部評価 (地域包括支援センター運営協議会からの意見等)
6	<p>一般介護予防事業を推進する取組み（次のいずれかの視点を入れて取組んでください）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>地域の通いの場づくりにおいて、地域及びグループの特性に応じた活動を、創意工夫しながら支援している。また地域で通いの場の普及啓発に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/>多様な地域活動や通いの場等と連携し、高齢者の社会参加促進のための地域資源の情報収集及び共有を行い、地域の介護予防ネットワークの構築を推進している。</p>	<p>【目標と具体的な取組み内容】</p> <p>目標： 通いの場の自主グループの継続活動を支援し、参加人数を増やすことで地域住民相互の助け合い、支え合いの意識向上、個々の介護予防の意識の促進をめざします。</p> <p>内容： 地域住民から要望が挙がり、通いの場を新たに立ち上げています。通いの場の継続支援として、活動日に定期的に訪問し、聞き取った要望をふまえ、保健所の専門職や少路包括の医療職による介護予防に関する講話を通いの場で実施しました。さらに、すべての通いの場にて地域教室等の参加を促し、地域全体でさらなる介護予防の意欲向上につなげることができています。また、通いの場同士で交流の機会を持つことができるように通いの場の交流会を開催しました。そこでは少路包括の圏域外も含めた、豊中市内の通いの場の活動状況を伝え、アンケート上、94%で今後の継続活動の意欲が高まったとの回答を得るなど、介護予防を集団で取り組む必要性を改めて深く認識してもらった機会となりました。</p> <p>また、豊中パワーアップ体操の体験会を通いの場のない校区を中心に開</p>	<p>【取組進捗状況内容】</p> <p>圏域全体に通いの場を確保されており、開始以来、減少することなく継続した活動が行われています。各通いの場を、概ね年4回程度以上、地域包括支援センターが訪問し、現状や課題の把握、ニーズ把握からの改善や情報提供につなげる後方支援を行っています。</p> <p>【特に優れている点】</p> <p>定期的に巡回し、後方支援を継続することで、それぞれの場のニーズに応じた、新たな内容や展開につなげています。</p> <p>【課題】</p> <p>個々の通いの場のニーズ把握をふまえた上で、参加者の継続、拡充につなげる取組みの</p>

豊中市地域包括支援センター事業評価表

		<p>催しましたが、アンケートで90～100%で『通いの場の体操を続けたい』との反応を得られています。介護予防の柱となる「運動」「社会参加」の効果が期待できることを啓発することで、結果的に通いの場の参加者も年々増加しており、通いの場が介護予防の地域資源として定着できています。</p>	<p>推進に期待します。</p>
		<p>【課題】</p> <p>依然として通いの場の少ない地域が存在します。また、既存の通いの場の参加人数が多く、新規の参加者の受け入れができないところが存在します。</p>	
		<p>【改善の方策と次年度の取組み】</p> <p>地域全体での介護予防の意識向上をめざすため、通いの場の数が少ない地域を中心とした様々な場所での通いの場の普及啓発と、通いの場の参加者の要望に沿った内容の継続支援を引き続き行います。通いの場でのつながりを基盤として、地域教室や介護予防にまつわるイベントの周知を行い、さらなる地域全体の介護予防の活性化をめざします。</p>	